

女性の胸痛外来の開設のお知らせ

【狭心症とは】:心臓の筋肉(心筋)を養う冠動脈という血管があり、その血管から何らかの原因で心臓の筋肉に血流(酸素)が流れにくくなる病気です。胸痛、胸部圧迫感、胸部絞扼感、胸部不快感などの症状を認めることが多いです。

分類:

(1)器質的狭窄(動脈硬化)を来す狭心症:

男性に多い。心臓 CT 検査などで診断し、カテーテル検査・治療を行います。

(2)器質的狭窄(動脈硬化)を認めない狭心症

(a)冠攣縮性狭心症:太い冠動脈が攣縮(けいれん)することによる狭心症

(b)微小血管性狭心症:細い冠動脈(細動脈)が攣縮(けいれん)したり拡張することができないことによる狭心症

これらの狭心症は、冠動脈機能検査(冠攣縮誘発試験・微小血管機能評価、カテーテル検査の1つ)で診断することができます。当院では以前よりこれらの検査を多く行っています。

【女性の胸痛】女性においても閉経前後(場合によれば 30-40 歳台)より胸痛を来すことがあります。更年期障害と診断されている場合もありますが、実際にそのような症状を持つ女性の中に上記の狭心症(冠攣縮性狭心症や微小血管性狭心症)が紛れていることがあります。また、実際にその胸痛のために原因が分からず長期間苦しめられている患者さんも存在します。

【当外来の目的】

胸痛を有する女性患者さんの中に狭心症が潜んでいないかどうか明らかにする。

【注意】

- ・胸痛の原因をすべて調べるわけではありません。狭心症の可能性があるかないかを調べる外来です。
- ・原則、紹介患者に限ります。
- ・担当は男性医師(寺川)ですが、女性医師が希望の場合は診察可能ですのであらかじめおっしゃって頂ければ幸いです。

【診察日時】第 3 火曜 14 時-15 時、一人 30 分